

(特別支援学校版「学力向上実行プラン」様式)

令和4年度 徳島県立ひのみね支援学校「学力向上実行プラン」

徳島県立ひのみね支援学校長 平岡 充栄

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職名・校務等担当名	氏名
管理職	校長 教頭	平岡 充栄 森本 裕美, 原田 真由美
学力向上推進員	教諭(教務課長) 教諭(学部長)	福崎 久美 (小)福原 薫, (中)宮本 洋子, (高)伊井 敏
委員	指導教諭(研究課長) 教諭(人権進路課長) 教諭(教務主任)	山田 千代 原田 真理 (小)片寄 恭代, (中)豊田 尚子

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

【3つの視点】

- (1)基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成
- (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

(全学部・全学年) 幼 児 児 童 生 徒 の 状 況			
よ さ	これまでの学びや経験等により習得した動作や感覚をいかして、興味関心があることや楽しいことに意欲的に活動できる。保護者や関係機関等の支援を受けて、健康に留意し活動に取り組んでいる。	課題 支援を受ける経験が多く生活に制限も加わる場面もあり、受け身になりやすい。より多くのことを知ったり、経験する機会を増やしたりして、主体的に生活する力をつけたい。	
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
一人一人の児童生徒の学習状況やニーズに応じた学習を進め、言語活動を中心とした学びや経験を広げながら活動に取り組む。		個別の指導計画において、2・3学期の「国語」の目標で「十分達した」「達した」という評価を80%以上とする。	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
1. 個々の児童生徒の学習状況を把握したり、授業の改善にいかしたりするために、重複障がい児童生徒の教科(国語)の授業についての研修に取り組む。		①夏季休業期間に全体研修を2回、その他それに関する研修を2回実施する。	
2. 児童生徒一人一人の学習状況を共通理解し、個に応じた個別の指導計画の目標や手だてについて、ケース会で検討する。		②研修後、2・3学期の学期目標や手だてについて、ケース会を活用し、個々の児童生徒に応じたものになっているか検討を行う。	
* 中間期の見直し			
達成状況を踏まえた改善事項			

